

# 第4学年社会科学習指導案

4年1組 34名

## 1 単元名 「豊かな自然環境を守り生かす小笠原」

## 2 単元の目標

- 小笠原諸島の様子について、位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、人々が協力し、特色ある島づくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解する。
- 地域に対する誇りや愛情をもち、豊かな自然を大切にしていこうとする態度や、豊かな自然を保護・活用している小笠原の様子について主体的に追究しようとする態度を養う。

## 3 観点別評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"><li>○小笠原の位置、豊かな自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の歴史的背景、人々の協力関係などをもとに、小笠原では人々が協力し、豊かな自然環境を保護・活用しながら、観光などの産業の発展に努めていることを理解している。</li><li>○小笠原について地図帳や各種の資料で調べ、必要な情報を集めて読み取ったり、リーフレットにまとめたりしている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○小笠原の自然環境と人々の生活などから問いを見出し、人々の生活や地域の特色などについて考え表現したり、根拠や例を示して話し合ったりしている。</li><li>○小笠原の人々の生活や産業を地域の発展と関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりしながらその特色を考え、文章で記述したり、リーフレットにまとめたことをもとに説明したりしている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○豊かな自然環境を保護・活用している小笠原の様子について、主体的に学習問題を追究・解決しようとしている。</li><li>○東京都民の一人として、小笠原の自然環境のすばらしさや、それを守ることの大切さについて考えようとしている。</li></ul>

## 4 単元について

本単元では、自然環境を保護・活用している小笠原諸島を取り上げ、その位置や自然環境を理解した上で、平成23年に世界自然遺産に登録された小笠原の様子や人々の生活について課題を設定する。

調べる内容は、小笠原の自然環境や産業、人々の自然保護運動や取組が中心となる。児童は社会的な見方・考え方を働かせ、地域の特色や豊かな自然を保護・活用した取組の目的を調べたり、考えたりする。

そして、調べたり考えたりしたことや、豊かな自然を大切にしていくなために自分たちができることなどを国語科で習得した技能を生かし、伝えたい思いや考えをキャッチコピーに表したり、リーフレットにまとめたりする。さらに、小笠原について学習していない5年生に発表することで成就感や達成感をもたせたい。

## 5 研究主題に迫るための手だて

### (1) 意欲を高める

- 学習意欲を高めるために、小笠原について学習していない5年生に、小笠原の魅力やすばらしさを発表することを目的とし、課題を追究したり、リーフレットにまとめたりする活動を設定する。

### (2) 国語科で習得した技能の活用

- 本単元で活用したい「書くことの技能」を子供たちに明示する。

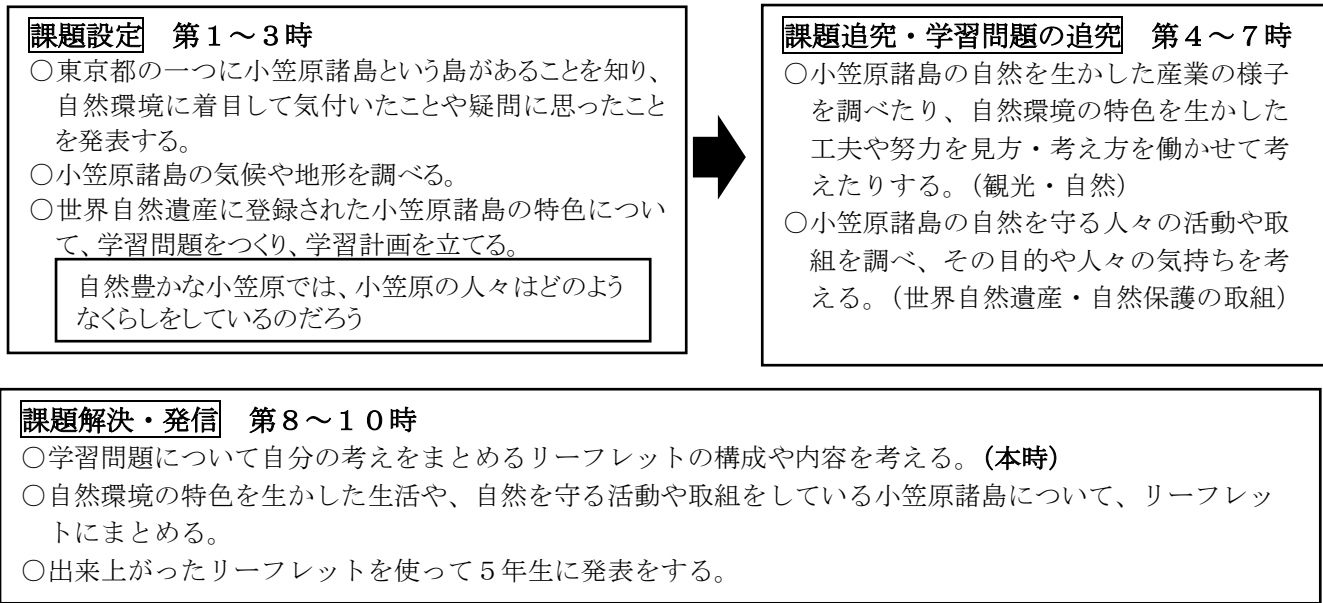
#### キャッチコピーの書き方

- ・短い言葉で、記事の内容を表す。
- ・読み手を引きつけるキャッチコピーを考える。  
→体言止め、倒置法、問いかけ、など

#### 分かりやすく事実を伝える方法

- ・伝えたいことの内容を明らかにする。
- ・文章のはじめに、一番伝えたいことを書く。
- ・見出しに、伝えたいことを短く書く。
- ・内容のまとまりごとに段落を分ける。
- ・写真や図表を組み合わせて、分かりやすく示す。

## 6 指導計画



## 7 本時について (8/10)

### (1) 本時の目標

小笠原の人々が、どのような生活をしているか、産業や地域の発展、自然保護の活動と関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりしながらその特色を考え、小笠原の魅力をキャッチコピーにまとめることができる。

### (2) 本時の展開

○学習活動	◇指導上の留意点 ☆評価 ◎研究主題に迫るための手だて
○学習計画を見て前時を振り返り、本時のめあてを確認する。	◇5年生にリーフレットを紹介することを確認する。(読み手・目的の確認)
小笠原の魅力を、小笠原の人々の思いが伝わるように、キャッチコピーにまとめよう。	
○キャッチコピーにまとめる。 ・キャッチコピーの作り方を確認する。	◇前時までの振り返りをもとに、リーフレットで伝えたい小笠原の魅力や感じたことを、キャッチコピーにまとめることを確認する。
<b>キャッチコピーの書き方</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短い言葉で、記事の内容を表す。</li> <li>・読み手を引きつけるキャッチコピーを考える。</li> </ul> →体言止め、倒置法、問いかけ、など 例「小笠原諸島は見どころたっぷり！」 「守ろう！小笠原諸島の自然」	◇読み手をひきつけるキャッチコピーの書き方を提示する。(「国語科で習得した技能を活用する」ための手だて)
○キャッチコピーに込めた小笠原の人々の思いを書く。 「小笠原諸島の観光や自然に興味をもってもらいたい」という思い。 「島の人々が協力して小笠原の自然を守っている」という思い。	◇キャッチコピーに込めた小笠原の人々の思いを吹き出して板書する。 (知ったこと、驚いたこと、興味をもったこと、など)
○完成したキャッチコピーを取り上げながら学習を振り返る。	☆小笠原の人々が、どのような生活をしているか、産業や地域の発展、自然保護の活動と関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりしながらその特色を考え、小笠原の魅力をキャッチコピーにまとめている。 ◇子供たちが作ったキャッチコピーの良さを紹介する。

# 第4学年社会科学習指導案

4年2組 34名

## 1 単元名 「豊かな自然環境を守り生かす小笠原」

## 2 単元の目標

- 小笠原諸島の様子について、位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、人々が協力し、特色ある島づくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解する。
- 地域に対する誇りや愛情をもち、豊かな自然を大切にしていこうとする態度や、豊かな自然を保護・活用している小笠原の様子について主体的に追究しようとする態度を養う。

## 3 観点別評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
○小笠原の位置、豊かな自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の歴史的背景、人々の協力関係などをもとに、小笠原では人々が協力し、豊かな自然環境を保護・活用しながら、観光などの産業の発展に努めていることを理解している。 ○小笠原について地図帳や各種の資料で調べ、必要な情報を集めて読み取ったり、リーフレットにまとめたりしている。	○小笠原の自然環境と人々の生活などから問いを見出し、人々の生活や地域の特色などについて考え表現したり、根拠や例を示して話し合ったりしている。 ○小笠原の人々の生活や産業を地域の発展と関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりしながらその特色を考え、文章で記述したり、リーフレットにまとめたことをもとに説明したりしている。	○豊かな自然環境を保護・活用している小笠原の様子について、主体的に学習問題を追究・解決しようとしている。 ○東京都民の一人として、小笠原の自然環境のすばらしさや、それを守ることの大切さについて考えようとしている。

## 4 単元について

本単元では、自然環境を保護・活用している小笠原諸島を取り上げ、その位置や自然環境を理解した上で、平成23年に世界自然遺産に登録された小笠原の様子や人々の生活について課題を設定する。

調べる内容は、小笠原の自然環境や産業、人々の自然保護運動や取組が中心となる。児童は社会的な見方・考え方を働かせ、地域の特色や豊かな自然を保護・活用した取組の目的を調べたり、考えたりする。

そして、調べたり考えたりしたことや、豊かな自然を大切にしていくなために自分たちができることなどを国語科で習得した技能を生かし、伝えたい思いや考えをキャッチコピーに表したり、リーフレットにまとめたりする。さらに、小笠原について学習していない5年生に発表することで成就感や達成感をもたせたい。

## 5 研究主題に迫るための手だて

### (1) 意欲を高める

- 学習意欲を高めるために、小笠原について学習していない5年生に、小笠原の魅力やすばらしさを発表することを目的とし、課題を追究したり、リーフレットにまとめたりする活動を設定する。

### (2) 国語科で習得した技能の活用

- 本単元で活用したい「書くことの技能」を子供たちに明示する。

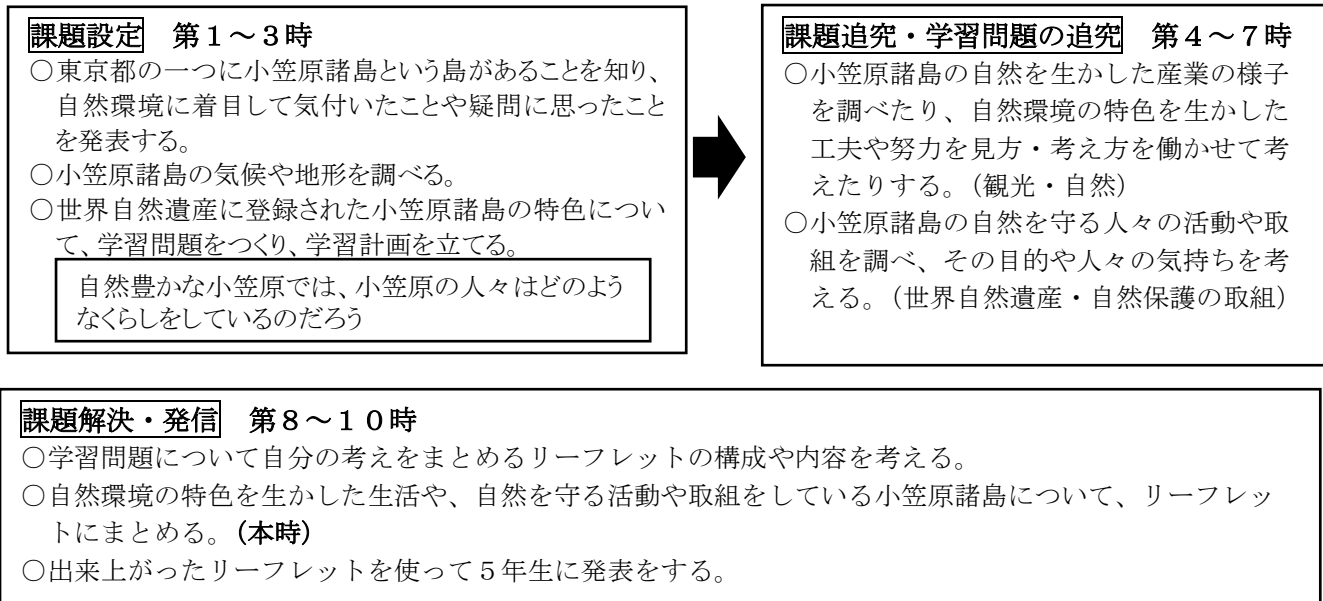
#### キャッチコピーの書き方

- ・短い言葉で、記事の内容を表す。
- ・読み手を引きつけるキャッチコピーを考える。  
→体言止め、倒置法、問いかけ、など

#### 分かりやすく事実を伝える方法

- ・伝えたいことの内容を明らかにする。
- ・文章のはじめに、一番伝えたいことを書く。
- ・見出しに、伝えたいことを短く書く。
- ・内容のまとまりごとに段落を分ける。
- ・写真や図表を組み合わせ、分かりやすく示す。

## 6 指導計画



## 7 本時について (9/10)

### (1) 本時の目標

小笠原の人々が、どのような生活をしているか、産業や地域の発展、自然保護の活動と関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりしながらその特色を考え、小笠原の魅力をリーフレットにまとめることができる。

### (2) 本時の展開

○学習活動	◇指導上の留意点 ☆評価 ◎研究主題に迫るための手だて
<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習計画表を見ながら前時を振り返り、本時の内容を確認する。</li> <li>・キャッチコピーに込めた思いを発表し、本時のめあてを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎完成したリーフレットを5年生に見てもらうことを確認し、読み手を意識した作品ができるようにする。</li> </ul>
<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">キャッチコピーに込めた思いが伝わるような内容を選んで、リーフレットをつくろう。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○モデル文を見て、リーフレットづくりの参考にしたいことを確認する。</li> <li>○リーフレットに載せる内容を考え、記事を書く。 (予想される児童の活動)</li> <li>・学習したことの中から、キャッチコピーに合った内容を選び、記事を書く。</li> <li>・キャッチコピーに込めた島民の思いや活動について記事を書く。</li> <li>○自分のキャッチコピーに合った内容を選べたか振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇島民の思いの入れ方を工夫したリーフレットをモデルとしていくつか用意する。</li> <li>◇キャッチコピーに込めた島民の思いや、活動等をリーフレットに入れることを確認する。</li> <li>◎「分かりやすく事実を伝える方法」を提示する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>分かりやすく事実を伝える方法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたいことの内容を明らかにする。</li> <li>・文章のはじめに、一番伝えたいことを書く。</li> <li>・見出しに、伝えたいことを短く書く。</li> <li>・内容のまとめりごとに段落を分ける。</li> <li>・写真や図表を組み合わせ、分かりやすく示す。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆小笠原の人々が、どのような生活をしているか、産業や地域の発展、自然保護の活動と関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりしながらその特色を考え、小笠原の魅力をリーフレットにまとめている。</li> <li>◇キャッチコピーに合った内容を選べた子供の作品を紹介する。</li> </ul>

